

評価対象年度	平成21年度	政策評価シート	政策	10
--------	--------	----------------	----	----

「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	10	だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	政策担当部局	環境生活部, 保健福祉部, 経済商工観光部, 教育庁, 警察本部
				評価担当部局	環境生活部

政策の状況

政策で取り組む内容

様々な凶悪犯罪の発生などにより、県民は治安に対し不安感を持っている。警察や関係行政機関と地域社会の連携、さらには住民による自主防犯組織との連携により、治安日本一を目指す。
 また、日本人と外国人が互いの文化や習慣の違いを認め合いながら、地域社会の一員として共に安心して生活していけるよう、市町村、関係機関とも連携し、外国人に対する相談体制や情報提供体制等の充実を図る。加えて、留学等で県内に居住する外国人が、卒業後も県内を舞台として活躍できる環境の整備を図る。

政策を構成する施策の状況

施策番号	施策の名称	事業費 (決算(見込)額, 施策の事業費合計)	目標指標等の状況	現況値 (測定年度)	達成度	施策評価
25	安全で安心なまちづくり	89,772千円	県民の体感治安(治安が良いと感じる県民の割合)	- (平成21年度)	N	概ね順調
			安全・安心まちづくり地域ネットワーク数	10 (平成21年度)	B	
26	外国人も活躍できる地域づくり	8,233千円	多文化共生推進施策を実施している県内市町村の割合	97.1% (平成21年度)	B	概ね順調
			日本語講座開講数(市町村数)	15 (平成20年度)	B	
			日本語講座開講数(箇所数)	25 (平成20年度)	C	
			国際交流事業で海外と往来した延べ人数	2,227 (平成21年度)	C	

目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」
 C:「目標値を達成してあらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」
 N:「現況値が把握できず、判定できない」

政策評価(総括)

政策の成果(進捗状況)	評価	評価の理由・各施策の成果の状況
各施策の成果等から見て、政策の進捗状況はどうか。	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくりに向けて、2つの施策で取り組んだ。 ・施策25では、目標指標等の一つである「安全・安心まちづくり地域ネットワーク数」が目標としたモデル地域の指定数に達しなかったが、県民大会、フォーラム及びリーダー養成講座の開催など県民運動の気運醸成に向けた事業を着実に実施し、また、子どもの見守り活動、女性の安全対策、その他一般県民を対象とした相談対応の事業などもそれぞれ概ね順調に進捗している。 ・施策26では、目標指標等の柱である「多文化共生推進施策を実施している県内市町村の割合」が県内全市町村での実施という目標に僅かに達しなかったが、未実施は1町のみであり順調に推移している。地方自治体の財政難や新型インフルエンザの世界的流行の影響等によって、目標指標等の一つである「国際交流事業で海外と往来した延べ人数」が低下したことなどはあるが、施策全体としては着実な進展が見られた。 ・以上のことから、本政策の進捗状況は概ね順調であると判断した。

政策を推進する上での課題等と対応方針

施策25では、県民運動としての安全・安心まちづくりを展開していくための県民への啓発・周知及び市町村や活動団体の活動支援の充実を図るとともに、引き続き子どもの見守り活動や幅広い県民を対象とした各種相談体制の整備等を推進する。さらに、平成22年度から開始される「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり基本計画」の見直し審議を踏まえ、事業内容の一層の充実を図る。
 施策26では、多文化共生の地域づくりに関し、より多くの団体や県民が参加できる工夫・仕掛けや関係機関による連携と協働のネットワーク整備が必要ことから、関係機関や地域と連携して地域課題に則したテーマでシンポジウムを開催するとともに、教育や防災など特定分野で抱える課題解決に向けて「宮城県多文化共生社会推進連絡会議(仮称)」を設置する。